日本計量新報

計測と科学
毎週日曜日発行
日本計量新報社
東京都千代田区神田錦町3-11-8（武蔵野ビル）
〒101-0054 TEL 03-3295-7871
FAX 03-3295-7874
http://www.keiryou-keisoku.co.jp/
振替口座　00140－5－12935
購読料年間25,000円（消費税別）

定量計量専用機
Pack NAVI
速くハカル、
楽にツメル

Yamato
大和製衡株式会社　tel:078-918-5577
http://www.yamato-scale.co.jp/

JIS原案への意見を募集中（6月18日(月)まで）
JIS B7607自動捕捉式はかり

日本工業標準調査会は、「JIS B7607自動捕捉式はかり」改正案に関する意見を受け付けている。意見締切日は、6月18日(月)。

「自動はかり」が特定計量器になったことから、計量法令に技術基準として引用される。

この意見受付公告は、国内外の関係者に対して、JISを制定・改正する前に、WTO／TBT協定第4条1項に基づいた意見提出の機会を設けるため、およびJISのパテントポリシーに基づき関連する特許等に関する情報収集をするため。期間は60日間。

JIS原案は、web上で閲覧のみが可能。保存、印刷などはできない。

意見提出は、日本工業調査会のwebサイト（http://www.jisc.go.jp/）の「意見受付公告（JIS）」ページから、意見提出フォームで。

■規格情報

【規格番号】JIS B7607

【規格名称】自動捕捉式はかり

【英文名称】Automatic catchweighing instruments

【概要】この規格は、個別の物体の質量またはばら状の物体の一塊の質量を計量する自動はかりのうち、自動重量選別機、質量ラベル貼付機および計量値付け機に対する性能要件および試験方法について規定したものであるが、最近の生産および使用の実態を踏まえて、規格内容の充実を図るため、改正をおこなう。主な改正点は、次のとおり。①規格名称を、「自動捕捉式はかり（キャッチウェイヤ）」から「自動捕捉式はかり」に変更する。②箇条1＝この規格を適用する自動捕捉式はかりの機種を、自動重量選別機、質量ラベル貼付機、計量値付け機、車両搭載はかりおよび車両組込みはかりの5器種から、自動重量選別機、質量ラベル貼付機および計量値付け機の3機種に絞る。③箇条4、箇条5、箇条7および附属書A＝適用範囲の変更にともない、本体の計量要件、技術要件および試験方法ならびに附属書Aの規定の見直しをおこなう。④附属書JA～附属書JD＝特定計量器検定検査規則（検則）で引用する検定のための技術基準を、附属書JA（取引又は証明用の自動捕捉式はかりの要求事項）、附属書JB（使用中検査）、附属書JC（検定に使用する器具）および附属書JD（自動捕捉式はかりの修理）として追加する。

【基礎として用いた国際規格の番号、同等性記号】MOD OIML R 51-1: 2006 Automatic catchweighing instruments. Part 1: Metrological and technical requirements-Tests

休刊のお知らせ

5月6日付は休刊とし、次号は5月13日付で発行します。

一般計量教習を募集
受験願書等提出期限は5月17日(木)必着

産業技術総合研究所（産総研）計量研修センターは、2018（平成30）年度後期一般計量教習の入所試験および教習の期間について公告している（https://www.nmij.jp/~metroltrain/ja/nowopen/H30_kanpou_ippan.htm）。2018（平成30）年度の一般計量教習は後期の1回のみの開催。

計量士になるには、計量士国家試験を受験するほかに、一般計量教習と、一般計量または環境計量（濃度、騒音・振動）特別教習を受講する方法がある。

【試験期日】2018（平成30）年6月22日(金)

【試験場所】①国立研究開発法人産業技術総合研究所つくばセンター（茨城県つくば市東1－1－1）②国立研究開発法人産業技術総合研究所関西センター（大阪府池田市緑丘1－8－31）

【試験科目】数学、物理、一般常識

【教習期間】2018（平成30）年9月11日(火)～12月7日(金)

【教習概要】計量法（平成4年法律第51号）第166条に規定する計量に関する業務に従事する経済産業省、都道府県、市町村、指定定期検査機関、指定検査機関、指定計量証明検査機関、特定計量証明認定機関および指定校正機関の職員ならびに計量士になろうとする者に必要な技術および実務を教授。

【入所定員】40名

【受験願書等提出期限】2018（平成30）年5月17日(木)必着

【受験願書等提出先】国立研究開発法人産業技術総合研究所計量標準普及センター計量研修センター一般計量教習担当＝〒305－8561、茨城県つくば市東1－1－1中央第1外周さくら館

【提出書類】（各1通）①一般計量教習入所試験受験願書②履歴書③推薦書書、推薦書の提出の無い受験者には、6月22日(金)に、入所試験終了後面談（https://nmij.jp/~metroltrain/）を実施）④写真⑤健康診断書⑥受験者本人のあて名を明記した返信用封筒

【提出方法】郵送による場合は、簡易書留等配達の記録が残る方法で送付。

【その他】▽産業技術総合研究所計量研修センターのホームページ（https://nmij.jp/~metroltrain/）で、別紙様式等の情報を公開。▽教習の修了は、受講状況および筆記または口述による修了試験の結果等により判定。

全紙面5月のIDとPW
ID：5140
PW：r5kg4kpa

今週の主な記事

JIS原案への意見募集、一般計量教習を募集　①面
全国計量行政機関人事情報(3)　②面
新製品・データアクイジション（A&D）、紫外可視分光光度計（島津製作所）、守随本店東京支店、政省令改正の概要　③面
2月版からの変更点(2)　④⑤面
とうきょうの計量
寄稿（森本晋、石井武）　⑥面
社説、JQAが新サービス開始、日電検のセミナー(2)　⑦面
第16回全国計量士大会での5地区からの報告(4)　⑧面

ISHIDA

『ハカリのイシダ』の自信作
あらゆる計量現場で効率作業のお手伝い。

デジタル重量台秤
■重量格差の大きい製品も1台でOK!　■ワンタッチ切替で計数作業を実現
■チェッカー機能で品質向上に貢献　■充実のオプション

蛍光管表示 AC電源タイプ

IT Series ITX-6

IT Series ITX-30

IT Series ITX-150

型番	ITX-6		
ひょう量(切替)	1500 g	3000 g	6000 g
目量	0.5 g	1 g	2 g
計量皿寸法	200mm（横）×250mm（奥行き）		

型番	ITX-30		
ひょう量(切替)	6 kg	15 kg	30 kg
目量	2 g	5 g	10 g
計量皿寸法	330mm（横）×310mm（奥行き）		

型番	ITX-150		
ひょう量(切替)	30 kg	60 kg	150 kg
目量	10 g	20 g	50 g
計量皿寸法	380mm（横）×530mm（奥行き）		

液晶表示・バッテリータイプの＜ITBシリーズ＞もラインナップしております

株式会社イシダ
本社／京都市左京区聖護院山王町44番地　TEL.(075)751-1686(直)　〒606-8392
東京支店／東京都板橋区板橋1丁目52番1号　TEL.(03)3962-6201(直)　〒173-0004
カタログ等詳しい資料をご希望の方は、左記へお問い合わせ下さい。
http://www.ishida.co.jp